

須坂市保育所あり方検討会議 準備会について

1. 準備会の目的

- (1)過去の「保育所あり方検討懇話会」、「保育所運営審議会」などで議論された保育園施設整備計画の経過を整理し、課題を明確にする。
- (2)須坂市の保育ニーズや人口動向を踏まえ、公立園・私立園の役割、施設、定員の規模の今後の方向性を整理する。
- (3)関係する各課、公立園職員から意見をいただき、今後、立ち上げる「保育所あり方検討会議」で、円滑に議論できるよう土台づくりを行う。

2. 準備会委員

- (1)教育次長(座長)
- (2)財政課長兼財政課公共資産マネジメント室長
 - ・市の財政状況、公共資産マネジメント
- (3)福祉課長
 - ・障がい児施設(児童発達支援)
- (4)産業政策課長
 - ・就労支援
- (5)学校教育課長
 - ・須坂学園構想、園小連携
- (6)須坂市公立保育園長会長
- (7)須坂市公立保育園長補佐会会長
- (8)市職員労働組合保育所部会長

3. 準備会(2～3回)

- (1)第1回案(7月3日)
 - ・「あり方検討会議準備会」の位置付けとスケジュール案
 - ・これまでの経過
 - 過去の「保育所あり方検討懇話会」、「保育所運営審議会」の経過と答申内容
 - それに基づき実施した統合・民営化・施設整備の状況
 - ・現状把握、今後の見込み
 - 未就学児の人口推移・予測、園児数推移・予測
 - 施設の設置状況
 - ・県内他市の状況
- (2)第2回案(9月16日)
 - ・ 第1回準備会での意見を受けての資料提示

- 公立園の役割の再定義、セーフティーネット機能(医ケア児、支援が必要な児童の受け入れ、災害発生、私立園の撤退等)
- 地域の保育の質の強化の検討
- 保育園の複合施設化(児童クラブ、障がい児関係施設等)の併設の検討
- 直営、民営化、指定管理などの運営形態の比較

(3)第3回案(11~12月)

- 第2回準備会での意見を受けての資料提示
- 「検討会議」の設置要綱・委員構成案の検討
- 検討会議スケジュール(ロードマップ)の策定
- 市民・保護者への情報提供と意見聴取(アンケート)の実施の検討

4.「子ども・子育て会議」での意見聴取(2027年2月)

- 準備会で決定した検討会の目的、委員構成、ロードマップを「子ども・子育て会議」で示す。

5. 検討会議(2027年5月~2028年3月) 全3~5回

【須坂市保育所あり方検討会議の目的】

少子化による保育需要の変化と公立保育所の老朽化に対応するため、公立園と私立園が相互に補完し、市民の多様なニーズに応じた質の高い保育環境を実現する持続可能な保育施策体系の構築を目指す。

須坂市公立保育園整備の主な経過

(2026 年 7 月作成)

1. 初期提言と整備凍結(1996 年度～2000 年代前半)

- 1996 年度: 須坂市保育所問題懇話会が「原則、小学校通学区単位に 1 保育園」の考え方に基づき、当時 13 園あった公立保育園を 9 園に統合する提言を行う。
- 2000 年度: 須坂東保育園と日滝保育園を統合し須坂東部保育園を建設。
- 2002 年度: 日野保育園を移転改築。その後、市内企業の雇用調整等に伴う財政急激悪化により、保育所の施設整備は事実上凍結状態。

2. 老朽化対策への再始動と検討(2005 年度～2006 年度)

- 2005 年度: 財政状況は厳しいものの、園舎の著しい老朽化と子どもの安心・安全確保が急務と判断され、「須坂市保育所あり方検討懇話会」を設置し、施設整備等の検討を 11 回にわたり実施(2018 年度まで)。
- 2006 年度: 懇話会から施設整備を含む保育サービス全般に関する提言を受ける。この提言に基づき、「須坂市保育所運営審議会(市の諮問機関)」において、公立保育園の統廃合と民間活力導入について 24 回にわたる議論を重ねる(2019 年度まで)。審議会では各保育園や地元に出向き、保護者等の意見を直接聴取。

3. 具体的な答申と計画策定(2007 年度)

2007 年度: 須坂市保育所運営審議会から「公立保育園の統廃合と民間活力の導入計画」について下記のとおり答申を得る。

(1) 公立保育園の統合・整備について:

- ① 保護者・地域住民の意見を十分に取り入れ、保育サービスの拡充を図ること。
- ② 統合の際の職員配置等は園児への影響に配慮すること。
- ③ 建設場所は現行園の小学校通学区区域内(できる限り小学校周辺)とし、園児の安全性や保護者の利便性に配慮すること。

(2) 具体的な計画:

- ① 単独整備: 須坂保育園(森上小学校通学区区域内での現地改築または移転)、須坂南保育園(小山小学校通学区区域内での新園建設)。高甫、北旭ヶ丘、豊丘、相之島保育園は施設の安全管理や園児数推移を見て検討。
- ② 統合整備: 仁礼・夏端保育園(両園のほぼ中間地点に建設)、井上・須坂千曲保育園(今後の園児数推移を見ながら、両園のほぼ中間地点に建設)⇒その後、単独整備に変更。

(3) 保育園への民間活力導入について:

- ① 老朽化が進む中での施設整備は緊急の課題。
- ② 保育など、公立では困難な保護者ニーズへの対応が可能であり、市全体の保育環境向上に期待。

③ 導入にあたっては保護者・地域住民の合意形成を重視し、担い手は高い公共性を持つ非営利の社会福祉法人等とする。

⇒2010 年度 須坂南保育園に代わる保育園として、社福)わらべ福祉会が運営するさかた山風の子保育園が開設。

4. 公立保育園の建替え整備の実施(2011 年度～2014 年度)

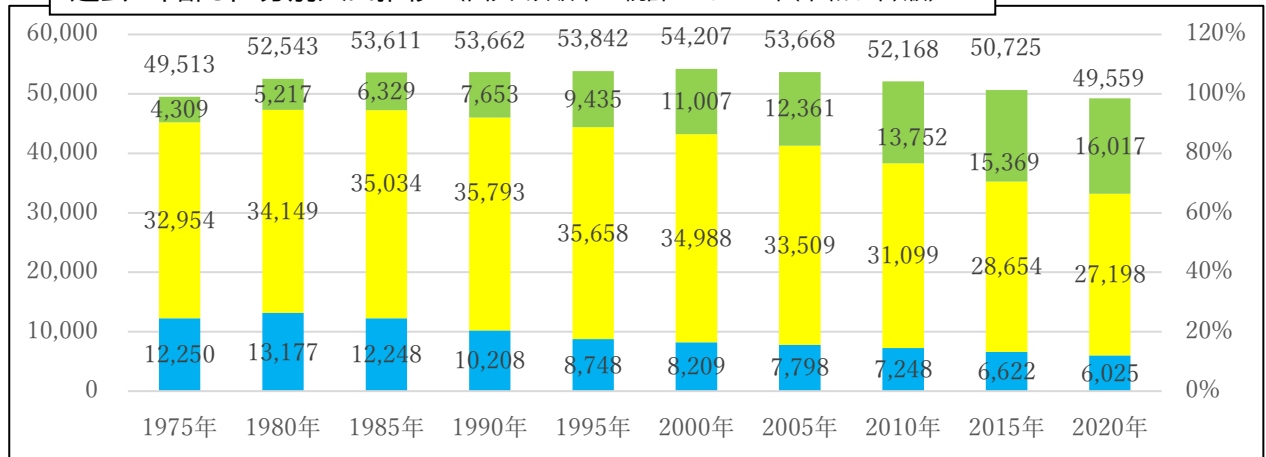
2011 年度から順次、公立保育園の建て替え工事を行い、整備した。

- ・ 2011 年度:仁礼保育園
- ・ 2012 年度:須坂保育園、高甫保育園
- ・ 2013 年度:相之島保育園
- ・ 2014 年度:須坂千曲保育園、北旭ヶ丘保育園
- ・ 2015 年度:井上保育園、豊丘保育園

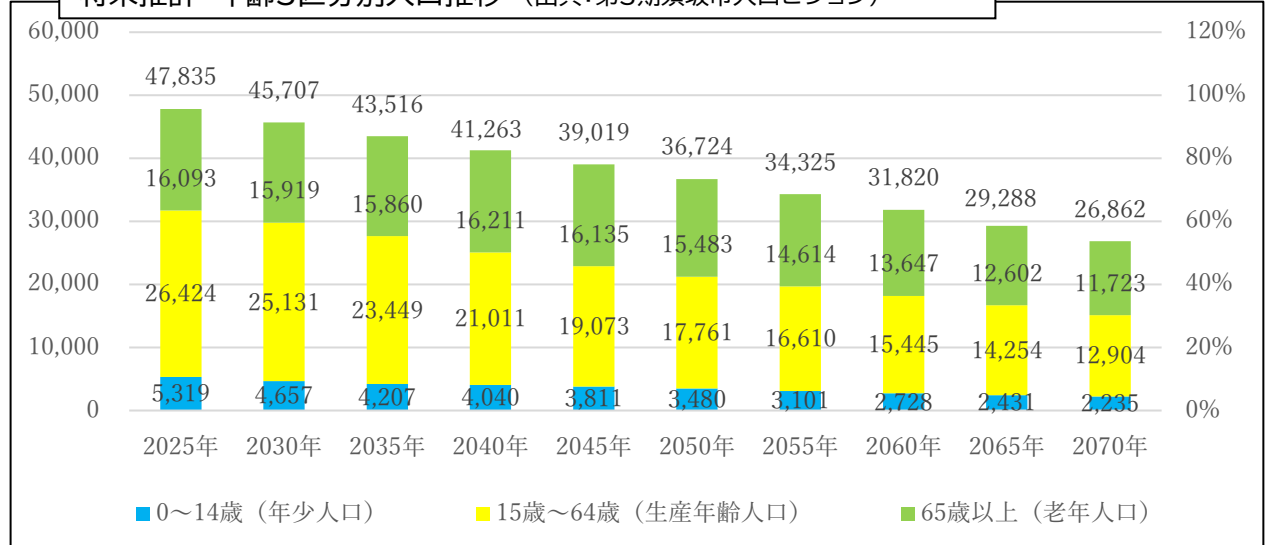
人口の状況と将来推計

須坂市の総人口は 2000 年にピークを迎えた後に減少局面に入り、人口構成は少子・高齢化が進行しています。将来人口推計では老年人口は 2025 年をピークにその後は緩やかに減少、年少・生産年齢人口は今後減少の一途をたどります。

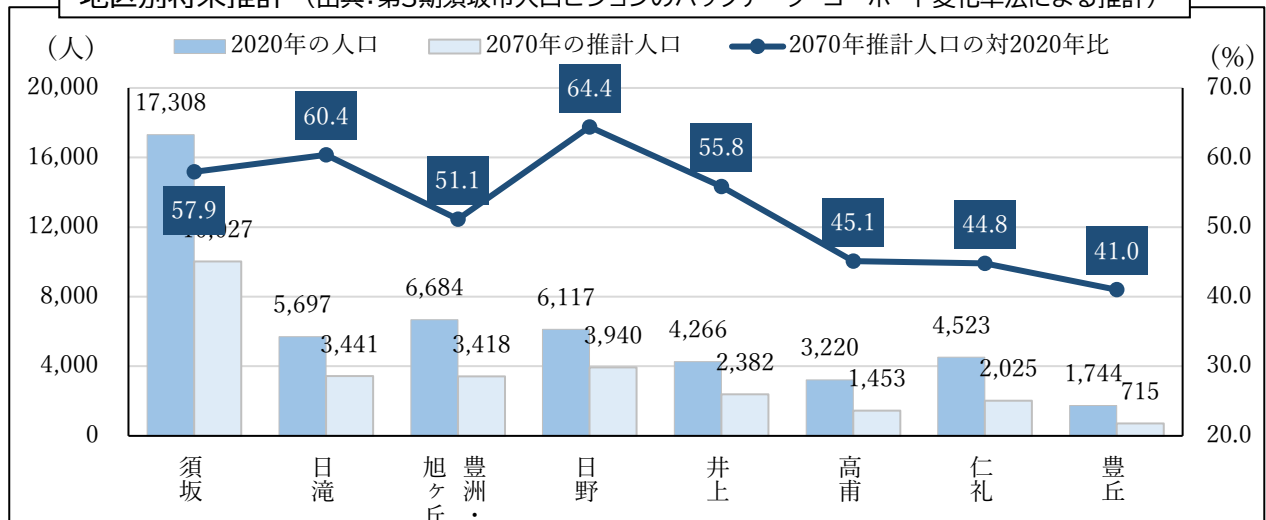
過去 年齢3区分別人口推移 (出典:須坂市の統計 2024 年(令和6年)版)



将来推計 年齢3区分別人口推移 (出典:第3期須坂市人口ビジョン)



地区別将来推計 (出典:第3期須坂市人口ビジョンのバックデータ コーホート変化率法による推計)



須坂市特定保育・教育施設一覧

2026. 4. 1現在

資料2④

区分	施設の種類	施設名称	利用定員					事業開始 (開園) 年月日
			保育 0歳	保育 1・2歳	教育 3～5歳	保育 3～5歳	計 (A)	
私立	保育園	上高井保育園	6	19		35	60	2015年4月1日
		豊洲保育園	5	15		30	50	
		みつばち保育園	10	25		45	80	
		やすらぎ保育園	6	24			30	
		さかた山風の子保育園	6	27		57	90	
		小計	33	110		167	310	
	認定こども園	マリアこども園	3	27	33	87	150	2015年4月1日
		マリアこども園分園	6	8			14	2018年8月1日
		マリアこども園北須坂分園	6	24			30	2022年4月1日
		マリアこども園西須坂分園	3	16			19	2025年10月3日
		須坂双葉幼稚園	0	18	90	30	138	2020年4月1日
		山びこ幼稚園			45	20	65	2022年4月1日
		小計	18	93	168	137	416	
	家庭的保育事業等	ことりの家	2	8			10	2023年4月1日
公立	保育園	須坂東部保育園	9	35		106	150	2000年
		須坂保育園	9	29		82	120	2013年
		日野保育園	9	33		108	150	2002年
		高甫保育園	6	22		62	90	2013年
		井上保育園	9	28		83	120	2015年
		北旭ヶ丘保育園	6	18		66	90	2015年
		須坂千曲保育園	6	15		39	60	2014年
		豊丘保育園	3	12		45	60	2015年
		相之島保育園	6	22		32	60	2014年
		仁礼保育園	9	34		77	120	2012年
		小計	72	248	0	700	1,020	
	須坂市総計			125	459	168	1,004	1,756

0～5歳人口推移及び入園率について

各年4月1日現在 （単位：人）

	年	0歳児	1歳児	2歳児	3歳未満児 合計	3歳児	4歳児	5歳児	3歳以上児 合計	0～5歳合計	未満入園児数	入園率	全体入園児数	全体入園率
10	2015	348	379	395	1,122	406	417	455	1,278	2,400	384	34.2%	1,338	55.8%
9	2016	337	355	387	1,079	401	411	431	1,243	2,322	390	36.1%	1,434	61.8%
8	2017	331	344	365	1,040	400	406	409	1,215	2,255	419	40.3%	1,373	60.9%
7	2018	322	350	349	1,021	377	411	419	1,207	2,228	406	39.8%	1,476	66.2%
6	2019	308	339	359	1,006	361	390	409	1,160	2,166	414	41.2%	1,466	67.7%
5	2020	333	332	346	1,011	367	367	399	1,133	2,144	431	42.6%	1,474	68.8%
4	2021	287	351	355	993	366	371	371	1,108	2,101	419	42.2%	1,449	69.0%
3	2022	319	303	349	971	366	359	365	1,090	2,061	411	42.3%	1,447	70.2%
2	2023	283	359	320	962	361	366	356	1,083	2,045	413	42.9%	1,447	70.8%
1	2024	269	308	363	940	322	363	374	1,059	1,999	438	46.6%	1,462	73.1%
	2025	239	290	312	841	366	319	375	1,060	1,901	430	51.1%	1,461	76.9%
	過去5年増減	▲ 94	▲ 42	▲ 34	▲ 170	▲ 1	▲ 48	▲ 24	▲ 73	▲ 243	▲ 1	8.5%	▲ 13	8.1%
	過去10年増減	▲ 109	▲ 89	▲ 83	▲ 281	▲ 40	▲ 98	▲ 80	▲ 218	▲ 499	46	16.9%	123	21.1%
	2026	235	249	294	778	319	370	322	1,011	1,789	401	51.5%	1,400	78.3%

0～5歳児の減少割合

2020-2025 -28.2% -12.7% -9.8% -16.8% -0.3% -13.1% -6.0% -6.4% -11.3%

2015-2025 -31.3% -23.5% -21.0% -25.0% -9.9% -23.5% -17.6% -17.1% -20.8% ※住民登録台帳より、外国人含む



●定員と利用率等について （2025年度 長野県19市保育所主管課長会議 継続議題資料より）

	保育所								認定こども園								幼稚園								小規模等			
	公立数	定員	入所児童数	利用率	私立数	定員	入所児童数	利用率	公立数	定員	入所児童数	利用率	私立数	定員	入所児童数	利用率	公立数	定員	入所児童数	利用率	私立数	定員	入所児童数	利用率	公立数	定員	入所児童数	利用率
長野市	30	2,638	1,736	65.8%	27	2,685	2,631	98.0%	2	202	154	76.2%	31	4,724	4,458	94.4%					15	2,155	1,060	49.2%	5	79	61	77.2%
松本市	41	5,701	3,750	65.8%	3	252	245	97.2%					17	2,235	1,904	85.2%	3	400	93	23.3%	4	625	304	48.6%	10	155	149	96.1%
上田市	28	2,895	2,121	73.3%	4	290	287	99.0%	1	75	23	30.7%	10	1,285	1,115	86.8%					9	1,335	364	27.3%	5	86	79	91.9%
岡谷市	10	1,070	728	68.0%	2	140	136	97.1%					2	210	170	81.0%					2	85	53	62.4%	1	19	13	68.4%
飯田市					4	210	205	97.6%	15	1,022	596	58.3%	21	2,429	2,125	87.5%									5	75	36	48.0%
諏訪市	12	1,560	923	59.2%	3	180	163	90.6%					1	240	87	36.3%									3	68	33	48.5%
須坂市	10	1,020	785	77.0%	5	310	300	96.8%					3	397	354	89.2%					1	80	14	17.5%	1	10	8	80.0%
小諸市	6	565	477	84.4%	1	55	50	90.9%					3	344	304	88.4%					3	340	246	72.4%	1	19	15	78.9%
伊那市	19	2,155	1,423	66.0%	2	120	106	88.3%					4	356	212	59.6%									1	4	4	100.0%
駒ヶ根市	8	765	506	66.1%	2	165	151	91.5%									2	180	40	22.2%	1	120	32	26.7%	1	18	11	61.1%
中野市	7	920	552	60.0%	1	90	90	100.0%					3	420	377	89.8%					1	230	57	24.8%	2	38	36	94.7%
大町市	6	605	333	55.0%									3	195	151	77.4%									1	5	3	60.0%
飯山市	7	570	272	47.7%	1	110	77	70.0%													1	60	40	66.7%				
茅野市	14	1,580	1,005	63.6%									5	497	450	90.5%												
塩尻市	15	1,800	1,464	81.3%	1	80	74	92.5%					2	147	135	91.8%									5	88	82	93.2%
佐久市	15	1,665	1,278	76.8%	8	932	827	88.7%					4	745	669	89.8%					4	630	250	39.7%	2	38	35	92.1%
千曲市	11	1,315	1,072	81.5%	4	410	366	89.3%					3	255	235	92.2%									1	19	17	89.5%
東御市	5	720	591	82.1%	1	90	92	102.2%					1	75	65	86.7%									3	36	27	75.0%
安曇野市					1	50	52	104.0%	18	2,704	2,157	79.8%	2	137	136	99.3%	1	140	76	54.3%					12	214	179	83.6%

●定員と利用率等について

(2025年度 長野県19市保育所主管課長会議 継続議題資料より)

2025年5月1日現在

	3歳未満児計				全 体 合 計					
	0～3歳 (A)	入所児童数 (B)	入園率 (B/A)	順位	0～5歳 (D)	定員 (E)	入所児童数 (F)	利用率 (F/E)	入園率 (F/D)	順位
長野市	6,471	2,925	45.2%	8	13,578	12,483	10,100	80.9%	74.4%	8
松本市	4,371	1,683	38.5%	18	9,211	9,368	6,445	68.8%	70.0%	16
上田市	2,708	1,163	42.9%	11	5,691	5,966	3,989	66.9%	70.1%	15
岡谷市	675	309	45.8%	7	1,498	1,524	1,100	72.2%	73.4%	10
飯田市	1,777	975	54.9%	1	3,761	3,736	2,962	79.3%	78.8%	3
諏訪市	810	321	39.6%	16	1,726	2,048	1,206	58.9%	69.9%	17
須坂市	841	438	52.1%	3	1,901	1,817	1,461	80.4%	76.9%	4
小諸市	650	274	42.2%	13	1,468	1,323	1,092	82.5%	74.4%	7
伊那市	1,126	457	40.6%	14	2,412	2,635	1,745	66.2%	72.3%	13
駒ヶ根市	499	171	34.3%	19	1,072	1,248	740	59.3%	69.0%	18
中野市	617	335	54.3%	2	1,391	1,698	1,112	65.5%	79.9%	1
大町市	281	121	43.1%	10	644	805	487	60.5%	75.6%	6
飯山市	196	98	50.0%	4	488	740	389	52.6%	79.7%	2
茅野市	872	338	38.8%	17	2,006	2,077	1,455	70.1%	72.5%	12
塩尻市	1,233	500	40.6%	15	2,655	2,115	1,755	83.0%	66.1%	19
佐久市	1,771	798	45.1%	9	4,035	4,010	3,059	76.3%	75.8%	5
千曲市	1,036	494	47.7%	6	2,272	1,999	1,690	84.5%	74.4%	9
東御市	467	225	48.2%	5	1,081	921	775	84.1%	71.7%	14
安曇野市	1,581	675	42.7%	12	3,570	3,245	2,600	80.1%	72.8%	11